

「いない」と言われた子たち

3D プリンタを利用したインスタレーション

コンセプト

学生生活の苦い経験（いじめた、いじめられた）を追体験→救済

ターゲット

- ・ 学生生活中の人
- ・ 学生生活を終えて間もない人（10代～20代）
→この人達に作品に触れて考えてもらいたい

体験に使用する小道具を CAD で作成し、造型機で出力
→大量に同じ形のものを作成する事が出来る

今回は椅子 8 脚、人形 16 体を使用

システム

Max6 gainer 磁気センサー 磁石

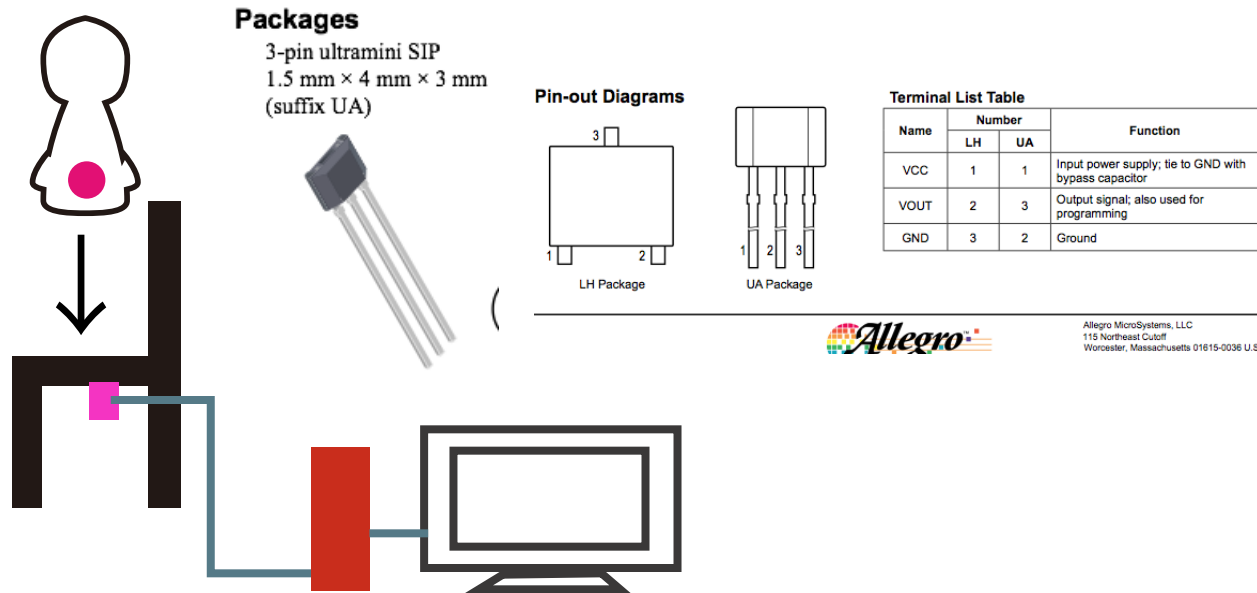
当初はスイッチを使用予定だったが、
磁気センサーが極性を判断出来ると分かったためスイッチは無しに。



人形に磁石を入れ 椅子に座らせ磁気を感じ

gainer を経由し

Max6 (パソコン) へ



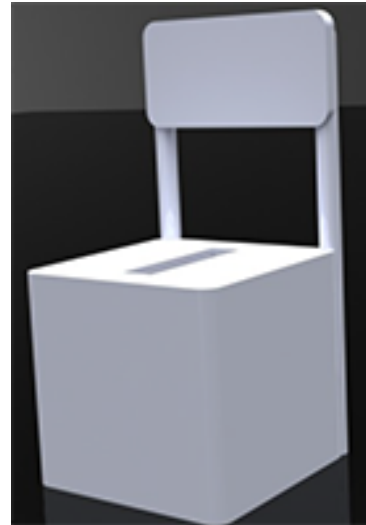
入力は全てアナログで、今回は geinar を一つ使用、8 カ所に磁気センサーを設置した

モデリング作業

Solid works でのモデリング
椅子の場合



当初目指していたもの



組み込む部品を隠そうとした結果

メディア造形総合演習Ⅰ



モデリング作業



隠す必要のある部品が少なくなったため目標に近い造形に

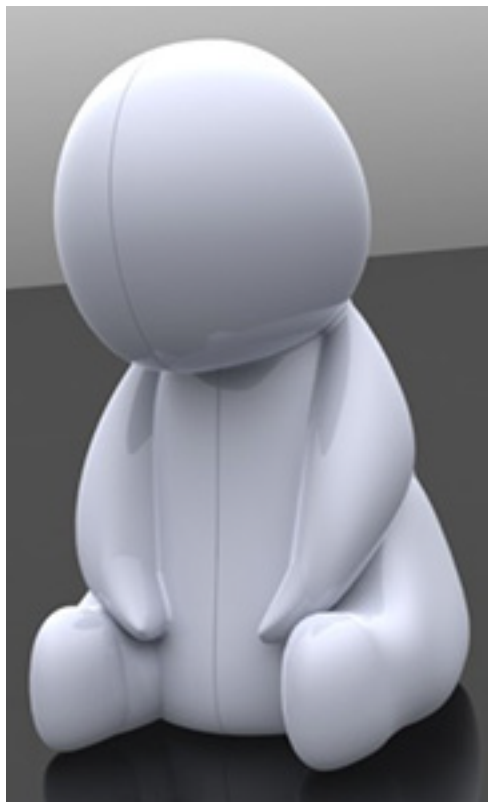
メディア造形総合演習Ⅰ

人形の場合



磁石を仕込むため真ん中が割れる構造を目指す

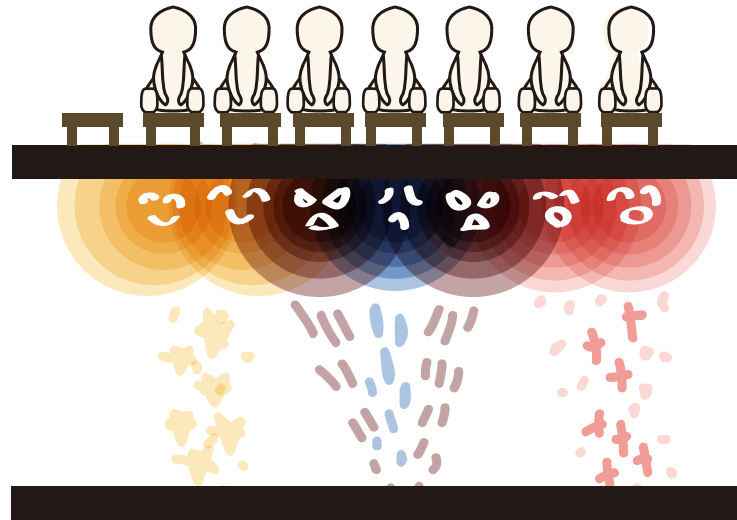
モデリング作業



プログラミング作業

今回目指すのは人形を置いた
椅子の真下の画面での変化を
見せること

→その際、両隣の変化も
反応の一部に加える



▲今回目指すもの

→用意せねばならない分岐が
N 極 S 極 反応なし × 8つの椅子の反応

=264627

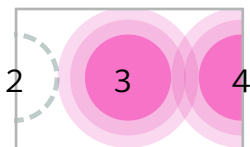
の分岐が必要



8つ並んだ状態のパターンをひたすらつくるともの凄い数になるので



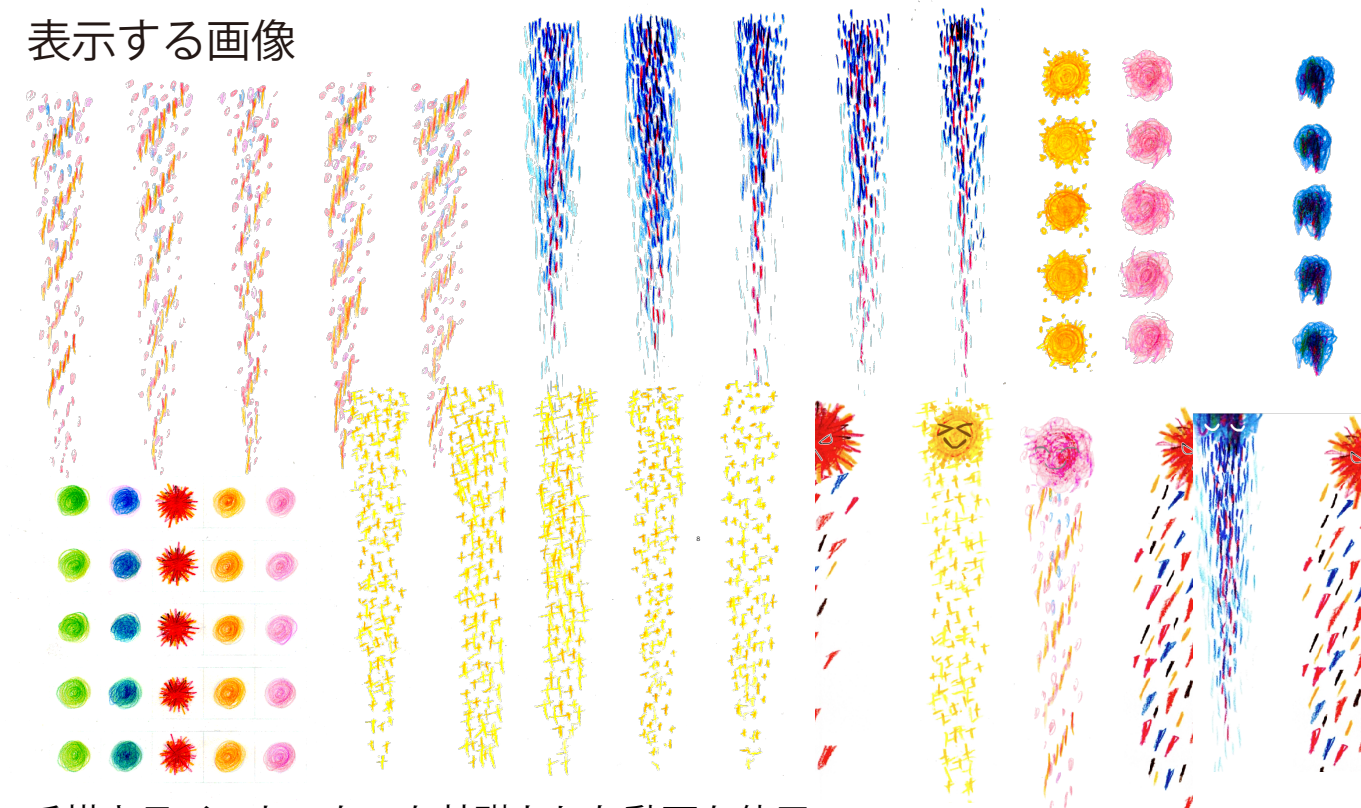
このように分割して



用意する画像（動画）はこのパターンを基礎として作成する

→そうすると分岐は約100以下になる。

表示する画像



手描きテイストのものを基礎とした動画を使用

それでは実際に体験を試みてください

ご清聴ありがとうございました